



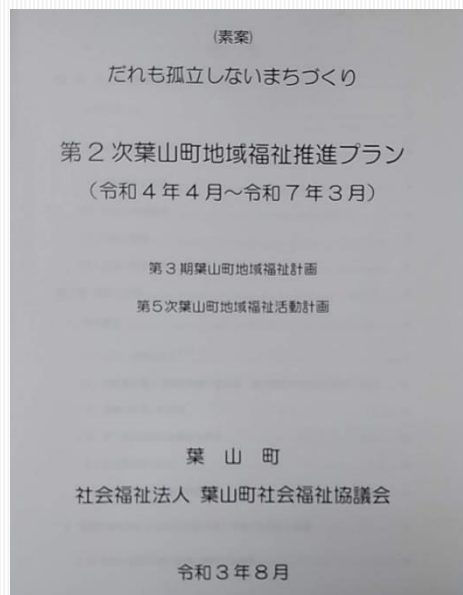
今月のNEWS

第2次葉山町地域福祉推進プランの素案が決定

令和3年度 葉山町地域福祉(活動)計画策定委員会が8月26日(木)に開催されました。

葉山町地域福祉推進プランとは、町行政と社会福祉協議会が合同事務局となり、葉山町の地域福祉の推進に関する計画を策定するもので、第2次葉山町地域福祉推進プランは、これまでの第1次地域福祉推進プラン(5年計画)や地域福祉の活動を踏まえつつ、地域共生社会の実現に向け、「住民、民間、行政が協働して、だれも孤立せず、自分らしく暮らせるまちづくり」を推進し、更なる地域福祉の推進を図るための令和4年度からの3年計画です。

町福祉課の担当者とは何度も練り合わせ、素案を作成し今回の委員会に諮りました。「もっと具体的に」というご意見や「趣旨をもう少し分かりやすく」など様々なご意見をいただきましたので、再度合同事務局で積み重ね、令和3年度中の策定に向けて作業を進めます。



災害時に備えた活動

9月1日は防災の日です。1923年(大正12年)9月1日(土)に発生した関東大震災にちなんだもので、関東大震災の教訓を忘れない、という意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて、1960年(昭和35年)に、制定されました。今一度、防災用品や非常食などのご確認をお願いいたします。

葉山町には、平常時から災害時に備えた活動をしている葉山災害ボランティアネットワーク(HSVN)があります。東日本大震災のボランティア活動から立ち上がったグループで、葉山町が被災した際に、社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの運営を行うグループです。どこの地区やどの世帯が被災し、どのようなお手伝いがどれくらい必要か把握し、被災者のニーズとボランティア活動者を結びつけるのが、災害ボランティアセンターの役割となっております。

社会福祉協議会では、職員を被災地に派遣して、災害ボランティアセンターの運営支援をしております。センターのお手伝いをするとともに、葉山町が被災した際の運営ノウハウを学びます。また、コロナ禍での活動にも備え、感染症対策ガイドラインも作成しました。

災害が起きないことが一番ですが、万が一に備えた準備もしております。

今月のスタッフひとこと

社会福祉士の資格取得を目指す、大学生が8月23日から9月末まで実習に来ています。どうぞよろしくお願ひ致します。



神奈川県立保健福祉大学 社会福祉学科3年の石田凜です。コロナ禍ではありますが、住民の方との関りを通して様々なことを学ばせていただきたいです。色々なお話を聞かせて頂けると嬉しいです。よろしくお願ひします。



関東学院大学現代社会学科3年の佐々木涼輔です。地域福祉における社協の役割について学ばせていただきたいです。現場でしか得られない経験をしたいです。誠心誠意頑張ります。

緊急事態宣言中は引き続き、ボランティア室等の貸出しを中止とさせていただきます。講座なども中止なる場合がありますので、ホームページなどでご確認ください。